

平成28年度 事業計画書

ハーバー大慈

1. <平成28年度法人ヴィジョン>
 - ①経営の強化
 - ②サービスの質の向上
 - ③教育システムの充実

2. <施設理念>

児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、利用者の人権を尊重し、地域から信頼される施設を目指す。

3. <基本方針>
 - ①利用者の最善の利益を目的とし、利用者主体の福祉サービスを提供する。
 - ②母と子の権利擁護の為に、職員一人ひとりの倫理観、人間性を養い、母と子が安心して生活出来る場を提供する。

4. <ハーバー大慈における中長期ヴィジョン>
 - ①入所者が金銭的、精神的、社会的に自立出来る様、自立に繋がる支援をする。また、全職員が、そのヴィジョンに対し、共通の意識を持ち、業務を遂行する。
 - ②内部組織の強化。
 - ③地域に貢献する。

5. <目標>
 - ①各入所者の自立へのプロセスを明確にし、ニーズに沿った支援をする。
 - ②職員の資質の向上。
 - ③リフレッシュ保育事業を通して、子育て支援を行う。

6. <行動計画>
 - ①各入所者の自立へのプロセスを明確にし、ニーズに沿った支援をする。
 - A) 入所時、入所後にケースワークを行い、母子と相談した上で、自立に向けた目標やプランを設定する。
 - B) 入所者の精神の安定を図る為に、必要に応じてケースワークの回数を増やす。
 - C) 金銭管理が必要な場合、金銭の預かりを行う。
 - D) 退所後、必要に応じて他機関との関係調整等、アフターケアを行う。
 - E) 児童にとって、より良い養育の為の支援を行う。
 - ・小中学生の学力向上の為の勉強会。
 - ・母親への経済的自立への支援（子どもの病時保育等）。
 - ②職員の資質の向上
 - A) 各職員、自分自身の資質を理解し、資質向上に必要な研修（コーチング研修等）に積極的に参加する。
 - B) 各職員がマニュアルに縛られず、自ら考え、行動出来る様に、会議等を通し価値観の共有化を図る。
 - ③リフレッシュ保育事業を通して、子育て支援を行う

A) 日、祝日の利用者が多い場合、必要に応じて職員の出勤人数を増やし、受け入れの枠を広げる。

B) リフレッシュ保育事業の広報活動（広告の配布やインターネットへの掲載）。

7. 《年間行事等》

月	行 事
4月	市母協総会・歓送迎会・個別対応遊び
5月	母と子の合同運動会（市母協）・母子福祉会総会・個別対応遊び
6月	母と子の親子エンジョイ月間・個別対応遊び
7月	七夕祭り・個別対応遊び
8月	児童キャンプ（市母協）・地藏盆・個別対応遊び
9月	母と子のバス旅行（市母協）・焼肉パーティー・個別対応遊び
10月	小中高生エンジョイ月間・ハロウィン・OB会・個別対応遊び
11月	施設内懇親会・個別対応遊び
12月	施設内クリスマス会・情報交換会（市母協）・個別対応遊び
1月	新春母と子のつどい（市母協）・新年会・児童もちつき・個別対応遊び
2月	節分・児童スキー大会（市母協）・個別対応遊び
3月	ひなまつり・個別対応遊び

8. 《学習指導》

①小学生・・・（算数・国語）各週1回

4年生以上（英語）月1回

②中学生・・・（数学・英語・テスト勉強）週1回以上

③小学生4年生以上～中学生3年生以下・・・

（母子福祉会主催）木曜日 17：30～19：30

9. 《保健衛生》

①害虫駆除・・・年1回（各居室・短期保護室・事務所・保育室・集会室・宿直室）

②排水管清掃

③エアコン清掃・・・（事務所・保育室・宿直室・集会室・各居室）

④廊下清掃

10. 《避難訓練》

消防訓練（年1回、消防署に避難訓練報告を行う）・・・月1回

地震訓練・・・6月

不審者訓練・・・10月

11. 《健康診断》

①職員・・・一般健康診断 年2回 検便（O-157） 月1回

②母親・・・一般健康診断 年2回

③児童・・・一般健康診断 年2回

12. 《研修》

全母協職員研修会・全母協研究大会・近母協研究大会・法人内研修会

コーチング研修（全職員を対象に2ヶ月に1回実施）・その他随時

13. 《会議》

頻度	会議名		
月1回	職員会議	支援会議	学童委員会
	リフレ委員会	リスクマネジメント会議	主任・リーダー会議
年2回以上	三者連絡会議（施設、こども福祉係・保護係等の各担当者）		

14. 《広報》

- ①施設新聞（利用者、関係機関に配布）、ホームページ
- ②リフレッシュ保育（利用対象者への広告の配布）